

# “万が一に備え”

冷静に反射的に行動できるように

## 訓練に1,300名参加 —— 防災意識高まる ——

九月三日、町内全域を対象に、大規模地震を想定し防災訓練が行われました。

農繁期にもかかわらず、訓練には、消防団・日赤奉仕団一般で約一、三〇〇名が参加され、それぞれの分担で訓練に付きましました。今年の訓練は、避難訓練と実際に三角巾を使って負傷した場合の応急手当、

消防団による消火器の使い方の指導、日赤奉仕団による非常食の炊出訓練などです。

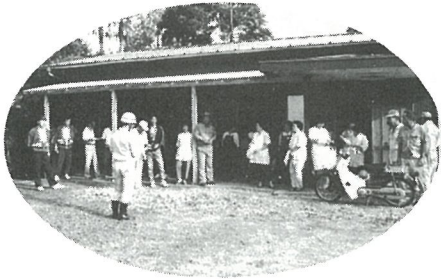
訓練に参加した方からは、「今まで、消火器の使い方わからず、台所を預かる主婦への指導は大変よかったです。」という声が聞かれました。

また、芝崎区においては、この日消火器の詰め替え時に主婦を対象に説明指導を行う計画ができたそうです。

この訓練を行うにあたって、協力頂きました大勢の方がありがとうございました。



▲いざという時にあわてないで〔入青年館〕  
消火作業もスムーズに



▲避難し、諸注意を聞く西高野区のみなさん

残暑がきびしい九月十三日、

東陽小五年生による校舎裏の稲刈りが行われました。田んぼは、三分の二位の

稲がねており、また水が溜って刈りにくそうでした。首

にタオル、中には軍手、手甲をつけて、

校長先生、担任の先生から「カマの扱い方」「足元の確認」

「穂先を泥につけない」などの注意をうけ、おそ

るおそる入っていききました。時々、ヒル・毛虫の出現に驚きの声をあげながら、また顔に泥をつけながらの奮闘。

### 泥にまみれ 稲刈りにおかわらわ

〈東陽小5年生〉

経験のある児童もいて、カマの使い方などなかなかのものでした。刈る子、運ぶ子、束ねる子、仕事も分担し手際よく進められていました。

「おもしろい」「おもしろくない」「疲れた」などさまざまな感想が聞かれました。近くを通る人も「苦労様」と声をかけて行きました。

収穫したお米は、親子でおにぎり作り、ボランティアアスクールで老人ホームへ寄贈するそうです。尊い労働の汗をかいたことでしょう。

### 今年の運動会は

### おみこしでござやかに

九月十七日南条小の運動会が行われ、家族が応援する中精いっぱい頑張っていました。

四年生の布施純一君は、パツクンレースを「おせんべいが食べられるから」と心待ちにしていました。お昼近くには、おみこしパレード、秋空に風船がはなされ、その行方

をいつまでも追っていました。家族みんなが参加した楽しい運動会でした。



▲おせんべいにねらいを定め